

平成 25 年 3 月 4 日

報道関係 各位

「東日本大震災と岩手県沿岸の民俗芸能 地域を支えるチカラ」

公開講座 開催のお知らせ

岩手県立大学総合政策学部は、3月16日（土）アイーナにて公開講座「東日本大震災と岩手県沿岸の民俗芸能 地域を支えるチカラ」を開催します。岩手県沿岸部には人々の生活に密着した多数の民俗芸能があります。東日本震災においては大きな被害を受ける一方、慰霊や地域の祭りのなかでその社会的な役割が改めて注目されることになりました。また外部からさまざまな支援を受けるとともに、さまざまな人のつながりができ、民俗芸能のあり方にも少なからぬ変化をもたらしつつあります。

本シンポジウムは現役の演者や関係者をお呼びして、震災の影響や地域社会における民俗芸能の重要性、現在抱える課題などについてざっくばらんにお話していただく貴重な機会です。また津波で散逸した釜石鶴住居にある神の沢鹿子踊の解説本を岩手県立大学総合政策学部復興防災研究会の支援で復刊することになりました。今回、併せてご披露いたします。取材・報道等よろしくお願ひ申し上げます。

1. 日時、場所

平成 25 年 3 月 16 日（土） 13:00～16:00

岩手県立大学アイーナキャンパス 学習室 1（いわて県民情報交流センター アイーナ 7 階）

※事前申し込みは不要です。

2. プログラム

第 1 部 沿岸の民俗芸能と外の世界をつなぐ 13:00～13:35

基調講演 橋本裕之（追手門学院大学・岩手県文化財保護審議会委員）

研究発表 阿部未幸（岩手県立大学総合政策学部学生・中野七頭舞）

第 2 部 地域を支えるチカラとしての民俗芸能 13:40～16:00

ビデオ上映「東日本大震災以降の岩手沿岸民俗芸能の現状」（阿部武司氏制作 10 分）

報告 佐々木忠行（鶴住居虎舞）

笹山政幸・奈奈子（鶴鳥神楽箱崎白浜宿）

工藤淳泰（鶴鳥神楽）

総合討論 14:30～16:00

司会進行 見市建（岩手県立大学総合政策学部）

【お問い合わせ先】

岩手県立大学アイーナキャンパス事務

TEL：019-606-1770